

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 2020年8月11日

【四半期会計期間】 第69期第3四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 東北化学薬品株式会社

【英訳名】 TOHOKU CHEMICAL CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 東 康之

【本店の所在の場所】 青森県弘前市大字神田一丁目3番地の1

【電話番号】 0172 (33) 8131 (代表)

【事務連絡者氏名】 上席執行役員管理グループ長 磯辺 譲

【最寄りの連絡場所】 青森県弘前市大字神田一丁目3番地の1

【電話番号】 0172 (33) 8131 (代表)

【事務連絡者氏名】 上席執行役員管理グループ長 磯辺 譲

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

東北化学薬品株式会社 東京支店

(東京都千代田区岩本町一丁目8番15号)

(注) 印は金融商品取引法の規定による縦覧に供すべき場所ではありませんが、投資家の縦覧の便宜のため備えるものであります。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第3四半期 連結累計期間	第69期 第3四半期 連結累計期間	第68期
会計期間	自 2018年10月1日 至 2019年6月30日	自 2019年10月1日 至 2020年6月30日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高 (千円)	22,638,688	22,739,580	31,013,852
経常利益 (千円)	186,049	250,720	329,620
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	112,071	284,277	221,485
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	21,148	224,656	138,529
純資産額 (千円)	5,244,955	5,489,677	5,362,319
総資産額 (千円)	15,173,698	14,082,532	14,751,536
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	119.57	303.99	236.30
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	34.4	38.8	36.2

回次	第68期 第3四半期 連結会計期間	第69期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	0.98	196.29

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や設備投資の改善など、穏やかな回復基調となったものの、米中間の貿易摩擦が世界経済に影響を与え、依然として先行き不透明な状況が続いておりました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、景気は急激に縮小し、世界経済へ大きな影響を及ぼしました。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境の変化に対応するため体質を強化し、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前年同四半期と比べ、売上高は、227億39百万円と1億円(0.4%)の増収、営業利益は、2億6百万円と55百万円(36.8%)の増益、経常利益は、2億50百万円と64百万円(34.8%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益等があり2億84百万円と1億72百万円(153.7%)の増益となりました。

各セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(化学工業薬品)

化学工業薬品は、主力であります電子部品産業の低稼働の影響があったものの前年同四半期を若干上回りました。また、同関連機器は、新型コロナの影響で、機器等の受注のずれ込み等があったものの前年同四半期を若干上回りました。この結果、売上高は、全体で113億99百万円と2億55百万円(2.3%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は、9億46百万円と10百万円(1.1%)の増益となりました。

(臨床検査試薬)

臨床検査試薬は、競争激化や検体数減少の影響がありましたが、新規案件等の影響で前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、機器等の受注のずれ込み等で前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で85億87百万円と24百万円(0.3%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は、8億35百万円と20百万円(2.6%)の増益となりました。

(食品)

食品は、新型コロナの影響や原料不足による製造量減少などあり前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、23億93百万円と1億13百万円(4.5%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、1億89百万円と8百万円(4.2%)の減益となりました。

(その他)

その他は、りんご栽培農薬の農薬使用料減少などの影響で、前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、3億58百万円と64百万円(15.3%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、46百万円と2百万円(5.0%)の減益となりました。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、6億69百万円減少し、140億82百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、7億96百万円減少し、85億92百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億27百万円増加し、54億89百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

資産の減少の主な要因は、商品が1億73百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が6億45百万円、投資有価証券が1億2百万円及びリース投資資産が83百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が2億98百万円、短期借入金が2億66百万円、役員退職慰勞引当金が88百万円及びリース債務が83百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産の増加の主な要因は、その他有価証券評価差額金が64百万円の減少したものの、利益剰余金が1億99百万円増加したことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題に重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	2,928,000
計	2,928,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	960,000	960,000	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	960,000	960,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日		960,000		820,400		881,100

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 26,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 932,400	9,324	
単元未満株式	普通株式 1,000		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	960,000		
総株主の議決権		9,324	

- (注) 1. 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。
2. 「完全議決権株式(自己株式等)」欄は、全て当社所有の自己株式であります。
3. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が77株含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 東北化学薬品株式会社	青森県弘前市大字神田 1-3-1	26,600		26,600	2.8
計		26,600		26,600	2.8

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	698,640	753,497
受取手形及び売掛金	7,627,666	6,982,104
電子記録債権	138,511	186,320
商品	849,929	1,023,666
リース投資資産	132,959	125,815
その他	274,234	222,449
貸倒引当金	1,134	484
流動資産合計	9,720,808	9,293,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	510,593	524,754
土地	1,498,379	1,498,379
リース資産(純額)	108,970	120,983
その他(純額)	308,943	316,029
有形固定資産合計	2,426,887	2,460,147
無形固定資産		
リース資産	41,712	31,284
その他	7,449	7,772
無形固定資産合計	49,162	39,056
投資その他の資産		
投資有価証券	1,360,829	1,258,711
リース投資資産	379,659	303,203
その他	831,876	745,796
貸倒引当金	17,687	17,751
投資その他の資産合計	2,554,678	2,289,959
固定資産合計	5,030,728	4,789,163
資産合計	14,751,536	14,082,532

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,015,483	6,716,840
電子記録債務	220,260	201,283
短期借入金	474,000	208,000
1年内返済予定の長期借入金	39,080	17,480
リース債務	181,932	175,354
未払法人税等	77,301	57,604
賞与引当金	53,450	10,000
その他	204,021	242,406
流動負債合計	8,265,528	7,628,968
固定負債		
長期借入金	84,530	73,820
リース債務	488,333	411,155
繰延税金負債	197,633	193,279
退職給付に係る負債	92,769	95,094
役員退職慰労引当金	199,249	110,969
その他	61,171	79,566
固定負債合計	1,123,688	963,885
負債合計	9,389,217	8,592,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	3,167,522	3,367,440
自己株式	52,634	65,525
株主資本合計	4,816,388	5,003,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	528,156	463,991
退職給付に係る調整累計額	8,286	6,152
その他の包括利益累計額合計	519,869	457,839
非支配株主持分	26,061	28,423
純資産合計	5,362,319	5,489,677
負債純資産合計	14,751,536	14,082,532

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)
売上高	22,638,688	22,739,580
売上原価	20,640,921	20,721,210
売上総利益	1,997,766	2,018,369
販売費及び一般管理費	1,846,552	1,811,434
営業利益	151,213	206,934
営業外収益		
受取利息	2,020	2,076
受取配当金	27,251	27,201
受取手数料	7,013	5,296
その他	1,279	12,271
営業外収益合計	37,564	46,845
営業外費用		
支払利息	1,562	1,613
支払手数料	1,148	1,445
その他	18	1
営業外費用合計	2,729	3,060
経常利益	186,049	250,720
特別利益		
固定資産売却益		198
投資有価証券売却益		179,188
投資事業組合運用益	4,601	893
特別利益合計	4,601	180,280
特別損失		
固定資産除却損	119	1,563
会員権評価損		730
特別損失合計	119	2,293
税金等調整前四半期純利益	190,530	428,707
法人税、住民税及び事業税	71,588	114,947
法人税等調整額	9,976	27,073
法人税等合計	81,565	142,020
四半期純利益	108,965	286,686
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	3,105	2,409
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,071	284,277

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	108,965	286,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95,166	64,164
退職給付に係る調整額	7,349	2,134
その他の包括利益合計	87,816	62,030
四半期包括利益	21,148	224,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,270	222,294
非支配株主に係る四半期包括利益	3,121	2,362

【注記事項】

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、2020年後半から徐々に収束に向かうとの仮定のもと、固定資産の減損等の会計上の見積りを行なっておりますが、経営成績及び財政状態に重要な影響を与えるものではないと考えております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
減価償却費	69,862千円	65,868千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年12月20日 定時株主総会	普通株式	84,359	90.00	2018年9月30日	2018年12月21日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年12月19日 定時株主総会	普通株式	84,359	90.00	2019年9月30日	2019年12月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,144,312	8,563,856	2,506,932	423,586	22,638,688		22,638,688
セグメント間の内部売上高 又は振替高							
計	11,144,312	8,563,856	2,506,932	423,586	22,638,688		22,638,688
セグメント利益	935,980	814,841	197,687	49,257	1,997,766		1,997,766

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,399,628	8,587,987	2,393,358	358,605	22,739,580		22,739,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高							
計	11,399,628	8,587,987	2,393,358	358,605	22,739,580		22,739,580
セグメント利益	946,552	835,642	189,401	46,772	2,018,369		2,018,369

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益	119円57銭	303円99銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	112,071	284,277
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	112,071	284,277
普通株式の期中平均株式数(株)	937,323	935,162

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月7日

東北化学薬品株式会社
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 村 憲 一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 島 川 行 正 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東北化学薬品株式会社の2019年10月1日から2020年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東北化学薬品株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。